

平成30年4月16日

各 位

内閣府大臣官房総務課
みどりの学術賞及び式典担当室

「みどりの学術賞 受賞記念講演会」開催のご案内

内閣府では、植物、森林、緑地、造園、自然保護等に関する研究や技術開発など、「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に対して内閣総理大臣から「みどりの学術賞」を授与しており、「平成30年（第12回）みどりの学術賞」は、熊谷洋一博士（東京大学名誉教授、兵庫県立淡路景観園芸学校名誉学長）と篠崎和子博士（東京大学大学院農業生命科学研究科教授）が受賞されました。

このたび、両氏の功績を讃えまして、平成30年6月2日（土）日本科学未来館（東京都江東区青梅2-3-6）において「みどりの学術賞 受賞記念講演会」を開催致します。（詳細については別紙参照）

ご多用中とは存じますが、幅広く周知いただき、お誘いあわせのうえご参加下さい。

なお、参加される場合は、5月25日（金）までに、同封の申込書をFAX、又は、Web上の参加申込フォーム（内閣府「みどりの学術賞」ホームページの新着情報からもアクセス可能）より登録をお願いします。

（定員になり次第受付を終了させていただきます。）

＜参加申込フォーム＞

※参加申込フォームのURLは別紙をご参照ください



＜内閣府「みどりの学術賞」ホームページ＞

<http://www.cao.go.jp/midorisho/>

※新着情報から別紙の電子ファイルのダウンロードも可能です



※ 関連イベントとして、受賞者によるトークセッションについてもご案内しています。
詳しくは、日本科学未来館ホームページをご覧ください。

＜日本科学未来館ホームページ＞

<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/>



＜担当＞

内閣府大臣官房総務課

みどりの学術賞及び式典担当室 水野、今若

（兼 林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室）

Tel 03-3502-8243（直通）

fax 03-3502-2887

FAX 送信票

【宛先】

内閣府大臣官房総務課みどりの学術賞及び式典担当室 今若 あて
(農林水産省 林野庁 森林利用課)

FAX 03-3502-2887

受賞記念講演会に参加を希望される方は、5月25日(金)までにご登録願います。
なお、数名での参加についても、参加者氏名等をご記入下さい。
定員になり次第受付を終了いたします。

「みどりの学術賞記念講演会」参加申込書

【申込代表者氏名等】

ﾌｻﾅ 申込代表者氏名		
所属団体名等		
連絡先	TEL	
	E-mail (任意)	

【申込代表者以外の参加者氏名等】

1	ﾌｻﾅ 参加者氏名	
	所属団体名等	
2	ﾌｻﾅ 参加者氏名	
	所属団体名等	
3	ﾌｻﾅ 参加者氏名	
	所属団体名等	
4	ﾌｻﾅ 参加者氏名	
	所属団体名等	

*欄が足りない場合は、コピーしてご使用ください。

みどりの学術賞 受賞記念講演会のお知らせ

平成 30 年 6 月 2 日 (土) 13:30~16:00

日本科学未来館 7 階 未来館ホール (入場無料)

東京都江東区青海 2-3-6 (以下の案内図をご覧ください)

主催: 内閣府 (みどりの学術賞及び式典担当室)

共催: 日本科学未来館

プログラム

13:00 開場

13:30 開会 (主催者挨拶、みどりの学術賞の概要説明)

13:45 受賞者講演

熊谷洋一氏 (東京大学名誉教授・兵庫県立淡路景観園芸学校名誉学長)

「自然環境の保全と景観シミュレーション」

篠崎和子氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

「乾燥や高温などの環境ストレスを生き抜く植物の仕組み」

「みどりの学術賞」は、「みどりの日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどりの日」についての国民の造詣を深めることを目的に、平成 18 年の閣議決定で創設され、今年で 12 年目を迎えました。

植物、森林、緑地、造園、自然保護など、「みどりの日」に関わる幅広い学術分野にご関心をお持ちの研究者、学生、一般市民の皆様のご参加をお待ちしています。

【申込み/お問い合わせ先】

以下の農林水産省のウェブサイトよりお申し込み下さい (5月25日〆切、定員 240 名)。

〈お申込先〉 https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/sanson_ryokka/180416.html

〈お問い合わせ先〉 内閣府みどりの学術賞及び式典担当室 (林野庁森林利用課内)

水野・今若 電話: 03-3502-8243

【会場アクセス】

○ 新交通ゆりかもめ

「船の科学館駅」下車 徒歩約 5 分

「テレコムセンター駅」下車 徒歩約 4 分

○ 東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車 徒歩約 15 分

○ その他 (無料巡回バス「東京ベシヤトル」、路線バス、自家用車<有料駐車場あり>)

→ 日本科学未来館ホームページをご覧ください。

<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>



第12回みどりの学術賞受賞者 功績概要

熊谷 洋一（くまがい よういち） 東京大学名誉教授

兵庫県立淡路景観園芸学校名誉学長



「自然環境の保全管理の基本となる景観影響評価方法論の構築と自然環境についての国民への理解と普及への貢献」に関する功績

自然環境の保全管理に関する環境影響評価において、従来の大気・水と生態系の観点に加え、景観という観点を組み込むことを提案するとともに、映像機器によるシミュレーションやコンピューターを用いた予測技術を開発するなど、景観や触れ合いの場としての自然環境への影響を的確に予測・評価する手法を確立した。また、自然との共生を目指した環境の創造を担う人材の育成のための実践的な教育を進めたほか、生物多様性国家戦略のとりまとめや国立・国定公園の再評価などにも関わり、学術面とともに実践的な取り組みでもわが国の自然環境保全の推進に大きく貢献した。

篠崎 和子（しのざき かずこ） 東京大学大学院農学生命科学研究科教授



「植物の環境ストレス応答機構の解明と耐性作物の開発」に関する功績

モデル植物のシロイヌナズナを用いて、乾燥や低温、高塩濃度などの環境ストレスの仕組みの全貌を世界に先駆けて明らかにした。特に、植物が環境ストレス条件下で耐性を獲得する際の鍵となるマスター遺伝子を同定して、この遺伝子を活用すると植物の環境ストレス耐性が強化されることを証明したことは、国際的に高い評価を得た。さらに、この発見をイネ・コムギ・トウモロコシなどの多くの作物に応用し、環境ストレスに強い品種の開発を進めている。これらの成果は、大規模な干ばつなどの気候変動の影響に対応した将来にわたる人類の食料安定生産や地球環境の保全に大きく貢献するものである。

みどりの科学コミュニケーターをよろしくお願いします

内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）では、日本科学未来館の科学コミュニケーターを、みどりに関する科学的な知見を分かりやすく伝える「みどりの科学コミュニケーター」に任命しました。各種イベントや「科学コミュニケーターブログ」

（<http://blog.miraikan.jst.go.jp/>）などで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。



平成30年度みどりの科学コミュニケーター
（左から、武田さん、清水さん）

平成30年度の新たな取り組みとして、みどりの科学コミュニケーターによる受賞者を迎えたトークセッションが以下の日程で開催されます（申込み不要、入館料のみで参加可能です）。

熊谷 洋一氏 日時：平成30年6月24日（日） 14:00～15:00

タイトル：「“見た目”で変わる、自然環境の良し悪し」

篠崎 和子氏 日時：平成30年5月12日（土） 14:00～15:00

タイトル：「ついに見つけた！植物のストレス対応術！」

※詳細は未来館ホームページをご覧ください。 <http://www.miraikan.jst.go.jp/event/>

お問い合わせ

内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室 【兼 林野庁森林利用課】

電話：03（3502）8243 FAX：03（3502）2887 （担当：水野、今若）

みどりの学術賞ホームページ <http://www.cao.go.jp/midorisho/>